

蒼穹NEWS No.3

七大戦展望号

平成 14 年 7 月 13 日発行



関カレで 3000mSC 2 連覇を果たした佐藤章徳

目次

- 主 将 挨拶
- 七 大 戦 の 日 程
- 七 大 戦 の 展 望
- 七 大 戦 の ラ ン キ ン グ
- 新 一 回 生 紹 介
- 種 目 別 選 手 権 出 場 者 の 感 想
- 関カレ以降の個人戦・記録会の結果

主将挨拶

来たる7月27,28日、東北は仙台の地で第53回国立七大学対校陸上競技大会、並びに第13回国立七大学対校女子陸上競技大会が行われます。我が京大陸上部は今年こそ悲願である総合優勝を掲げていますが例年、後一步の所で惜敗し悔しい思いをし続けています。昨年も戦前の予想では京大有利とされながらも東大、名大の猛攻に会い3位にまで順位を落とすという、無念さだけが残る結果に終わりました。苦い思い出となった昨年はチームのまとまりの無さが指摘されましたが、今年は部員一人一人が意識を変え緊張感を持ってそして闘志を持って七大到立ち向かおうとしています。戦力面でも冬季練習を乗り越え成長した選手達は勿論のこと、すでに今年入部した部員の中で他大学の強豪選手相手に対等以上に戦える記録を出している者も大勢おり、それは東大、名大に決して劣るものではありません。そう易々と勝たせてくれないのが七大会であることも承知しておりますが、我々はチーム一丸となった団結力で必ず優勝できるものと信じています。

蒼穹会の皆様方の力のこもった応援は、我々の励みになると思われまますので、遠路で恐縮ではありますが、一人でも多くの先輩達に足をお運び頂き、京大陸上部の10年振りの悲願の達成を支えて下さりますよう、どうぞ宜しくお願い致します。

京都大学陸上競技部主将 米谷 健司

七大戦の日程

日時：7月27日(土) オープンの部

7月28日(日) 対校戦 (開会式9:00 閉会式17:00)

男子：予選3組2着+2

女子：予選2組3着+2

トラックの部

9:30 男子 3000mSC 決勝
9:50 男子 400m 予選
10:15 男子 110mH 予選
10:40 女子 100m 予選
10:50 男子 100m 予選
11:05 男子 1500m 決勝
11:20 男子 400m 決勝
11:35 男子 110mH 決勝
12:05 女子 100m 決勝
12:15 男子 100m 決勝
12:25 女子 800m 決勝
12:35 男子 800m 予選
12:55 男子 400mH 予選
13:10 女子 400m 予選
13:20 男子 200m 予選
13:40 女子 3000m 決勝
14:20 男子 4×100mR 決勝
14:40 男子 400mH 決勝
14:50 女子 400m 決勝
15:00 男子 800m 決勝
15:20 男子 200m 決勝
15:45 男子 5000m 決勝
16:15 女子 4×100mR 決勝
16:40 男子 4×400mR 決勝

跳躍の部

9:30 女子 走高跳 決勝
9:40 男子 棒高跳 決勝
11:10 男子 走幅跳 決勝
13:10 女子 走幅跳 決勝
13:30 男子 走高跳 決勝
14:30 男子 三段跳 決勝

投擲の部

9:30 男子 円盤投 決勝
11:20 男子 砲丸投 決勝
13:00 男子 やり投 決勝
14:20 女子 砲丸投 決勝
14:50 男子 ハンマー投 決勝

場所：宮城野原公園総合運動場陸上競技場 (<http://www.pref.miyagi.jp/suposin/miyaginohara.htm>)

交通手段： 仙台駅からJR利用の場合 JR仙石線宮城野原駅下車・徒歩5分 / 榴ヶ岡駅下車・徒歩7分

仙台駅から仙台市営バス利用の場合 仙台ビブレ前・32番のりば
中央卸市場・卸町・霞の目行き(国立病院経由)
総合グラウンド前下車・徒歩3分

仙台駅から宮城交通バス利用の場合 仙台ビブレ前・34番のりば
原町方面行き 原町一丁目総合グラウンド入口下車・徒歩10分

七大戦の展望

～ 短距離巨匠 ～

100m

広瀬 亮平	(4)	10.81
北垣 卓	(2)	11.13
堀江 匠	(1)	11.42
花谷 直人	(3)	補欠

100mには上記の三人が出場する。広瀬は滋賀選手権で自己ベストを更新し、追い風参考ながら10"71もマークしており、勢いに乗り七大戦に臨めそうである。ランキングでは2位であり、名大の後藤(10"65)にどこまで迫れるか。北垣はここにきて高校ベスト(11"11)に迫る大学ベストをマークし、上昇のきっかけはつかめたようである。タイムからすると決勝進出ライン上といったところであり、入賞は自分の走りができるかにかかってくるであろう。一回生の堀江はデビュー戦となった滋賀選手権で11"42をマークし、出場を決めた。まだ体が戻りきっていないが高校ベストは11"2台であり、少しでも高校ベストに近づきたいところだ。

200m

広瀬 亮平	(4)	21.92
藤井 章輔	(2)	22.25
北垣 卓	(2)	22.45
堀江 匠	(1)	補欠

この種目には100mにも出場する広瀬、北垣と、個人は200mに絞った藤井(章)の三人が出場する。広瀬は優勝も狙えるタイムであり、疲労が心配であるが予選を楽に走って温存できれば決勝でも有利にレースを展開できるであろう。藤井(章)は春に故障した足の状態がまだ完全ではないようだが、100mに出場しない分体力的にも余裕があり、上位に食い込んでくるだろう。北垣は100mである程度結果を出してきており、200mでも自己ベストが狙えそうな感じである。ただ、100m、200m共に予選から勝負をかけていかななくてはならない位置にいる上、あいだに4継もあるため、体力的には厳しい戦いになるであろう。

400m

花谷 直人	(3)	50.52
村地 優樹	(2)	50.85
藤井 章輔	(2)	52.66
米谷 健司	(4)	補欠

選手層の薄さが懸念されていた400mであるが、ようやく戦力が整いつつある。まず花谷であるが、このところ調子を上げてきており、安定度は高く、50秒半ばぐらいではいつでも走れそうである。きっちり予選通過を決めて1点でも多く獲得して欲しい。400mの鍵を握るであろう選手が村地である。長い間故障していたが、6月に復帰し、51秒02をマークしており何とか本番に間に合いそうである。1浪からの大学デビュー戦でいきなり50秒台を出すなど、潜在能力は非常に高く、まだ走れるようになってから日が浅く、本番までにはもっと調子をあげてくるだろう。藤井(健)

は七大戦初出場であるが、双子の兄である藤井(章)同様ロングスプリントの経験豊富であり、このところ練習も積めており本番は上記のタイムは確実に上回ってくるであろう。

110mH

若山 哲志	(4)	15.15
佐藤 真一郎	(3)	15.12
尾崎 禎亮	(2)	15.54
寺田 悟	(4)	補欠

短距離でもっとも高得点を期待できそうなのがこの種目である。14秒台のベストを持っていた他校の二人が今年は抜け、さらに若山、佐藤(真)が関西インカレでベストを更新し、ランキングでは1位、2位を占めている。ただ、佐藤(真)はこのところ腰痛に悩まされており、不安がまったくないわけではない。そしてここにきて尾崎が大阪選手権にて自己ベストを大幅に更新してトリプル入賞を狙える位置まできている。三人が実力を発揮すれば恐らく大量点が取れるであろう。

400mH

若山 哲志	(4)	54.85
寺田 悟	(4)	55.56
尾崎 禎亮	(2)	57.70
西村 広展	(3)	補欠

400mHは若山、尾崎の110mH陣から二人と、寺田(悟)の三人が出場する。若山はランキング5位であり、恐らく予選を流して通過できるであろう。しかし決勝は110mHを二本、400mHを一本走った後のため、予選で上手く温存できてもやはりきついレースになると思われる。それでも表彰台には上がってくれるであろう。寺田(悟)は今期57秒台であるが、練習のタイムを見る限り、かなり走れてきており、本番で実力を発揮すれば決勝進出も果たせるであろう。尾崎は110mHに続いての出場であり、やはり体力的にはきつそうだが、110mHで好結果を残せば、400mHでも良いレースができるであろう。

4×100mR

花谷-広瀬-藤井(章)-北垣 (補欠 堀江 松井)

この種目は京都大会、東京大会と二大会連続で優勝しており、今年は3連覇がかかっている。今年は昨年までいたエース神通が抜け、苦しい布陣になると思われたが、ここにきてメンバーが調子を上げてきており、3連覇に向け準備は整いつつある。1走は今季11"09をマークしている花谷。個人は400mを選択し、100mには出場しないが、スタート、コーナリング得意としており1走向きの選手である。1走に11"0台の選手を配置できるのは七大学では京大だけであろう。2走は100m10"81の広瀬。4人の中でもっともスピードがある。そして3走は200m出場の藤井(章)。彼もコーナリングを得意としており、スピードもある。そしてアンカーが今季11"13をマークし、やっと調子をあげてき

た北垣。他チームの追撃を振り切って恐らく1位でフィニッシュしてくれるだろう。最大のライバルであろう名大に対し曲線部分でどれだけ差をつけられるか、そこが勝負の分かれ目になりそうである。

4×400mR

(花谷・村地・藤井(章)・藤井(健)・広瀬・米谷)

七大戦の最後を飾るマイルリレーであるが、メンバー、走順共にまだ不確定である。恐らく花谷、村地、藤井(章)の出場は確実であるが、あと一人は残りの三人のコンディション次第であろう。また、花谷、村地、藤井(章)も多種目出場であり、状態は当日のレース前にならなければ分からない部分も多い。ただ、他校も条件は同じであり、京大がベストの布陣で臨めれば優勝争いに十分加わっていきそうである。昨年度は前半リードを奪いながら逆転され、二位に終わっているだけに、今年は是非とも優勝を飾りたいところである。

～ 中距離 ～

800m

寺田 智	(3)	1.57.52
磯島 弘	(2)	1.58.13
前田 昌也	(1)	2.02.24

寺田は昨年決勝に進出したが、残念ながら8位に終わり、今年はなんとしてもその雪辱を晴らしたいところである。今年は昨年の経験を生かし、一つでも上の順位を目指し、渾身のスパートを見せてスタンドを沸かしてくれるだろう。磯島は1'58"台で安定した走りを見せており、決勝進出はほぼ確実、きっかけさえつかめばタイムもまだまだ縮められるので、上位入賞も可能だろう。

前田は今年入部した中距離期待の一回生である。残念ながら現時点では力不足は否めないが、今後が楽しみな選手であるので今大会では少しでもタイムを縮め、今後につながる走りを期待したい。

800mは昨年同様、今年も混戦が予想される。従って多くの選手にチャンスがある反面、持ちタイム上位の選手が苦戦する可能性も高く、本番での勝負強さが問われるレースとなるだろう。

1500m

大畑 合	(4)	4.00.56
佐藤 章徳	(3)	4.05.35
西村 好康	(2)	3.56.84

大畑は昨年5位に入賞しており、今年はそれ以上の結果が期待される。本人も優勝を明言しており、やる気は十分である。後は当日までの調整次第だろう。

佐藤は今シーズン、専門種目の3000SCに加え1500mも積極的に取り組んできた。4'06"前後では安定して走っており、そろそろ一皮むけて一気にベスト更新と行きたいところである。またそれが入賞への条件となるだろう。

二回生にして京大のエースに成長した西村は文句なしの優勝候補である。安定性・勝負強さ・そしてどのようなレース展開にも対応できる力を考えれば、彼に対抗できるほどの選手は他大学には見あたらない。関西I.C.で幾度とな

くスタンドを沸かせてくれたように、今大会も大いにスタンドを沸かせてくれるだろう。

～ 長距離 ～

5000m

西村 重行	(4)	15.29.72
山中 邦夫	(4)	15.59.93
西村 好康	(2)	14.51.7
田中 齊太郎	(2)	補欠

西村(重)は関西インカレではまったくさえなかった。最近では徐々に調子を上げてきており、三度目の七大戦で初得点を目指す。九州出身の彼は「暑いのは苦にならない」とのことなのでやってくれるだろう。

山中は関西インカレでは10000mに出場した。昨年の駅伝以降着実に力をつけてきた選手である。いくつかの小さな故障が気になるが、積極的な試合展開でレースを盛り上げてくれることを願う。

エースの西村(好)は関西インカレ後、疲労性の風邪に苦しみ、現在も思うような練習がこなせずにいる。1500mとの兼ね合いもあり、苦しいレースが予想されるが、得意のラストスパートで栄冠を手にするのを見たいものだ。

田中は選手兼トレーナーである。関西インカレでも多くの選手の活躍を陰で支えた。高い意識を持った選手で、次代の長距離を担う存在である。現在は伸び悩んでいるが、秋口からは大きく飛躍するに違いない。

3000mSC

山崎 圭介	(4)	9.35.34
佐藤 章徳	(3)	9.10.58
大崎 友数	(2)	補欠

山崎は今回が4年連続4回目の出場になる。今シーズンは怪我に悩まされているものの、練習量の不足を精神力でカバーし、関西インカレでは見事に入賞を果たした。夏の東北でも快走してくれるだろう。

佐藤は京大が誇るSCのエース。関西インカレ二連覇に続き、全国種目別選手権でも快走した。真面目で優しいような彼もレースになると豹変する。関西インカレに続き、あのガッツポーズでのゴールに期待したい。

大崎は今期ついに念願の9分台入り。上位の二人の活躍のために目立たないのだが、着実に力をつけつつある。三番手にこういう選手がいることが今期のSCの強さの証である。二人に刺激を受け、ますます成長してほしい。



1500m出場の大畑(写真中央)

～ 跳躍 ～

走幅跳

杉本 昌大	(1)	7m02
宮田 征門	(4)	6m77
半田 知巳	(7)	6m36
森 一	(2)	6m31

走幅跳にはこの4人がエントリー。当日までの記録で上位3人が本戦に出場する。杉本が一回生ながら、デビュー戦で7mをマークしており、勢いもある。宮田は関カレは10種があり、ハードワークだったが、今年は幅に専念できるので、期待は大きい。三番手は半田か森かであるが、どちらが出るにしても、本番でもしっかり活躍してもらいたい。

三段跳

福山 大典	(2)	14m46
粟村 聡資	(4)	13m96
横矢 龍之介	(1)	13m91
垣畑 陽	(2)	

三段跳はこのメンバーで出場。春先、調子を上げる事が出来ず悔しい思いをした福山は、先日の滋賀選でベストに迫る記録を出し、勢いを持って、七大に臨む。なかなか思う跳躍の出来ない粟村は、七大戦にしっかり合わせるのを期待したい。横矢も先の滋賀選でいきなりベストを出している。走高跳との兼ね合いもあるが、現時点で記録の無い垣畑とどちらか強い方が本戦に出るので、どちらにしてもがんばってもらいたい。

走高跳

渡邊 浩一	(3)	1m85
田中 智弘	(2)	1m80
半田 知巳	(7)	
横矢 龍之介	(1)	

走高跳はこのメンバーで出場する。一回生での活躍から一転、最近では停滞している渡邊であるが、次期パートチーフらしく景気のいい記録を残したいところ。田中も途中入部ながら、京都インカレで1m80を跳んでおり、また横矢もグラウンドで同等の力を見せている。2人とも入賞ラインなので、1点でも多く取ってもらいたい。

棒高跳

水田 真人	(7)	3m20
佐藤 真一郎	(3)	3m20
半田 知巳	(7)	

棒高跳にはこの3人が出場する。水田は今年に入って、いまいち調子が上がらないが、跳躍最初の競技なので、良い出だしを期待したい。

佐藤はハードルとの兼合いがあり、110mHは大きく期待できるので、棒高跳も善戦して欲しい。半田はblankが気になるが、本来強い選手であり、入賞を期待したい。

～ 投擲 ～

砲丸投げ

竹村 顕大朗	(2)	12m08
河村 和彦	(3)	10m36
垣畑 陽	(2)	
木村 克也	(1)	

投擲4種目の中で、レベルが一番高い砲丸投げ。持ち記録14mが一人、13m付近が三人であるが、なかなか調子が上がってこない者もいるので、その中で竹村がどれだけベストを出して、上位に食いこめるかが見ものである。竹村も調子が上がっているだけに楽しみである。河村は練習で11m付近投げしており、ベスト8には残れるだろう。何とか6位入賞してもらいたいところである。3人目はどちらが出るか未定である。

円盤投げ

河村 和彦	(3)	31m96
堤 哲生	(5)	28m53
木村 克也	(1)	
竹村 顕大朗	(2)	

最近34m付近まで投げるようになった河村は、何とか関カレ標準を切る記録を出して、上位入賞してほしいところ。上位陣はかなり強いが、6位入賞はできそうである。堤はベスト8に残るのも難しいが、なんとかベストを出して、いい感じでヤリにつなげて欲しい。3人目はどちらができるか未定。

ハンマー投げ

河村 和彦	(3)	44m85
八木 美典	(4)	36m77
水田 真人	(7)	28m84
木村 克也	(1)	

優勝候補の一人である河村は、練習では好記録を出すものの試合では、いまいちである。昨年の七大は最悪だったので、今年は何とかして欲しいところ。八木は、二回時に39mの記録を出してから低迷しているが、何とかベスト付近を出して、6位入賞して欲しい。3人目は未定であるが、ベスト8に残れる可能性もあるだけに楽しみである。

やり投げ

堤 哲生	(5)	58m51
松田 俊	(1)	50m33
八木 美典	(4)	47m67
真鍋 文朗	(2)	33m95

ランキングでは、優勝の可能性がかなり高い堤。今年も記録も安定しており、練習も積んでいる。ぜひ60mを超えて優勝して欲しいところである。高校時代50m33を投げた松田であるが、まだまだ調子が上がってきていない。何とか七大で好記録を出して欲しい。八木は故障が治りきっておらず、不安が残るがベストを出して入賞したいところである。

～ 女子部 ～

100m

北川 佳奈	(2)	14.56
滝上 伸子	(2)	14.45

女子 100m には上記の二人が出場する。関西インカレで大学ベストを出し、調子も上がってきた滝上には快走、そして決勝進出の期待がかかる。

一方久々の対校戦 100m 出場となる北川。本人はまだ本調子ではないと言うものの、その潜在能力を発揮し、得点に絡んでほしいところ。女子トラック最初の種目だけに、勢いのある走りを見せてもらいたい。

400m

大本 祐子	(3)	66.79
岩瀬 祥子	(2)	
北川 佳奈	(2)	補欠

400mには800mと同じ大本と岩瀬が出場。二人とも専門は800mであり絶対的なスピード不足は否めない。しかし、岩瀬は冬練の積み重ねで持久力もつき、農Gでも短い距離で好記録を出しており、くらいつけば決勝進出も狙える。大本は二ヶ月間の故障が不安要素ではあるが決勝進出は十分に狙える。ぜひ得点をしてほしい。

800m

大本 祐子	(3)	2.28.01
岩瀬 祥子	(2)	2.38.65
山下 里絵	(2)	補欠

大本は京都インカレ以来、腰を痛めて二ヶ月間強練ができなかった。しかしその間も筋トレやjogを怠らず、忙しい授業の合間を縫って朝や夜に練習をしっかりとってきた。今は回復しつつあり、調子は上向きである。七大戦での目標は「表彰台に上ること」。魅せる走りにご注目を。また、岩瀬は今シーズンはベストを更新し調子を上げている。練習でも力強い走りを見せており、やる気、実力ともに十分である。とにかくできるだけ前にくっついていって自己ベストを出し、得点にも絡むことが目標である。

3000m

田端 亜衣子	(3)	11.02.16
中村 奈都子	(2)	11.48.3
山下 里絵	(2)	11.37.1

3000mは現時点でこの三人がエントリーしている。田端は先日の記録会で自己ベストを更新しており、七大戦でも表彰台と共に記録への期待もかかる。六月初めにした怪我がまだ治りきっておらず苦しい状況ではあるが、意欲と闘志は十分にある。怪我の治り具合と、きちんとした練習ができるかがポイント。中村と山下は七月初めの記録会で代表を決定する。中村は最近になって調子が上がってきている。気合は十分にあるので思い切り走ってほしい。山下は自己ベストを狙ってマイペースで走ることが目標。田端に

どこまで迫れるか見所であろう。七大戦は暑い中での3000mとなるが、全員に得点に絡む走りを期待したい。

4×100mR

岩瀬 大本 滝上 北川 (補欠 田端 溜)
短距離が北川と滝上の二人しかいないため、少し苦しい布陣となった。しかし大本は短距離の経験もあり、また岩瀬も最近短い距離でのスピード練習を重ねており、走れるメンバーである。走順はまだ確定していないが、53秒台を出せる実力はあるので、ぜひとも表彰台に上ってほしい。メンバー全員の結びつきの強さも生かし、最高の結果を期待したい。

走幅跳

北川 佳奈	(2)	4m89
滝上 伸子	(2)	4m33

女子走幅跳には、100mと同じく北川、滝上が出場。関西インカレでは足が合わず、記録更新はならなかった北川。しかし、今回ベストが出れば上位入賞の可能性は非常に高い。昨年はおと一步のところでベスト8入りを逃した滝上。今の好調子を生かし、北川を脅かす存在になれるか。

走高跳

滝上 伸子	(2)	1m20
-------	-----	------

専門外の種目のため、練習不足は否めない滝上だが、昨年の新人戦で出した記録は更新したい。女子一番最初の競技ということもあり、持ち前のパワフルさを生かしてここで得点し、全体の雰囲気盛り上げてほしい。

砲丸投げ

田端 亜衣子	(3)	
溜 宣子	(2)	
山下 里絵	(2)	

砲丸投げに出場の二人は、投擲は専門外なため記録はもっていない。かつ、二人とも初挑戦の種目である。砲丸選手である竹村氏による指導の成果が、本番に発揮されることを期待したい。少しでも遠くに飛ばし、できれば得点に絡む投げをしてほしいところ。



100m・400m・4×100mRに出場する北川

七大戦のランキング

1000m

1	後藤 賢二	名古屋	10"65
2	広瀬 亮平	京都	10"81
3	久留島暢平	九州	10"94
4	工藤 圭	東北	10"95
5	鈴木 隆博	東京	10"99
6	佐藤 道由	東北	11"04
7	遠藤 進	名古屋	11"06
8	荻山 宣樹	大阪	11"13
8	北垣 卓	京都	11"13
10	米田 武史	東京	11"14
10	井指 雅彦	北海道	11"14

2000m

1	後藤 賢二	名古屋	21"83
2	広瀬 亮平	京都	21"94
3	工藤 圭	東北	21"95
3	久留島暢之	九州	21"95
5	吉川 英寿	北海道	22"05
6	徳本 和訓	東京	22"07
7	遠藤 進	名古屋	22"08
8	藤井 章輔	京都	22"25
9	北垣 卓	京都	22"45
10	佐藤 道由	東北	22"46

4000m

1	吉川 英寿	北海道	48"30
2	石井 康雄	東京	49"8
2	高倉 栄男	東京	49"8
2	大竹 洋平	東京	49"8
5	北川 達	大阪	49"97
6	橋本 拓也	東北	50"00
7	小村 太一	九州	50"20
8	坂田 敦	九州	50"32
9	藤島 一星	北海道	50"33
10	井亀 匡敦	名古屋	50"50

8000m

1	笹原 翔太	東京	154"51
2	小平 圭一	東北	155"46
3	杉山 喜春	北海道	155"78
4	石井 康雄	東京	156"9
5	寺田 智	京都	157"52
6	磯島 弘	京都	158"75
7	山本 晃洋	東京	158"86
8	寺田 敦	九州	159"74
9	小林 耕志	東北	159"85
10	原田 淳一	九州	200"20

15000m

1	西村 好康	京都	356"84
2	笹原 翔太	東京	359"02
3	瀧川 紘	名古屋	359"18
4	大畑 合	京都	400"65
5	山崎祐太郎	東北	404"05
6	橋 明德	東北	404"62
7	小栗 崇治	名古屋	405"20
8	佐藤 章徳	京都	405"35
9	中尾 雄高	大阪	408"71
10	野上 将弘	九州	409"64

5000m

1	橋 明德	東北	1445"1
2	藤田 裕	名古屋	1447"84
3	西村 好康	京都	1451"7
4	山田 浩平	名古屋	1508"19
5	山家 翔	東北	1509"47
6	伊藤 潤一	名古屋	1515"7
7	山口 徹	九州	1516"
8	金政 泰介	大阪	1516"50
9	濱田 翔平	九州	1522"2
10	田坂 和彦	東京	1523"34
*	瀧川 紘	名古屋	1444"47

11000m

1	佐藤真一郎	京都	15"12
2	若山 哲志	京都	15"15
3	永山 由高	九州	15"19
4	横尾 泰宣	北海道	15"25
5	佐々木 隆	東北	15"31
6	前里 優介	名古屋	15"35
7	土屋 貴史	東北	15"38
8	五十嵐 哲	東北	15"44
9	森田 敏広	名古屋	15"48
10	柴崎 政俊	大阪	15"51

4000mH

1	横尾 泰宣	北海道	52"29
2	加藤 真人	名古屋	53"60
3	佐々木 隆	東北	53"68
4	田中 徹治	大阪	54"34
5	若山 哲志	京都	54"87
6	五十嵐 哲	東北	55"03
7	松本 大毅	九州	55"43
8	柴崎 政俊	大阪	56"80
9	寺田 悟	京都	56"85
10	高倉 栄男	東京	57"22

3000mSC

1	佐藤 章徳	京都	910"58
2	稲垣真太郎	名古屋	923"04
3	八木 悠太	東北	925"
4	田辺 匡亮	東京	932"42
5	山崎 圭介	京都	935"34
6	相原 佑康	東京	938"15
7	中瀬健太郎	大阪	945"56
8	吉田 考広	九州	950"77
9	角田 康宏	東北	952"
10	森 直樹	九州	1000"78

走高跳

1	真鍋 周平	大阪	2m17
2	西川 漠	東北	2m01
3	藤原 啓	東京	2m00
4	村口 和人	東京	1m95
5	森田 敏宏	名古屋	1m94
6	渡辺 浩一	京都	1m93
7	森下 聡	東京	1m85
7	小林 卓矢	大阪	1m85
9	田中 智弘	京都	1m80
9	米田 拓	名古屋	1m80

棒高跳

1	川添 雄太	東京	5m00
2	細川 尊史	大阪	4m80
3	徳多 正行	東北	4m40
4	森田 敏宏	名古屋	4m30
5	島田 俊雄	東京	4m20
5	大江 昌範	北海道	4m20
7	松林 武生	東京	3m90
8	端浦 雅人	名古屋	3m80
9	水田 真人	京都	3m40
10	佐藤真一郎	京都	3m20

走幅跳

1	安積 高靖	大阪	7m19
2	杉本 昌大	京都	7m02
3	藤田 靖浩	東京	6m96
4	館 真透	大阪	6m91
5	宮田 征門	京都	6m77
6	橋本 武	東京	6m76
7	吉岡 和夫	東京	6m64
8	斎藤 陽	東北	6m59
9	福田 真大	名古屋	6m58
10	壇 洋郎	九州	6m57

三段跳

1	藤田 靖浩	東京	14m78
2	安積 高靖	大阪	14m57
3	福山 大典	京都	14m46
4	川添 雄太	東京	14m34
5	館 真透	大阪	14m32
6	余郷 徹明	北海道	14m09
7	横矢龍之介	京都	13m91
8	土屋 貴史	東北	13m72
9	橋本 武	東京	13m58
10	米田 拓	名古屋	13m56
10	岩田 一樹	東北	13m56

砲丸投

1	尾杉 友浩	大阪	14m00
2	中村 友浩	名古屋	13m75
3	上田 泰弘	九州	13m20
4	出口 雅俊	東京	12m35
5	竹村 顕大朗	京都	12m08
6	遠藤大五郎	北海道	12m03
7	阿部 太一	東京	10m84
8	河村 和彦	京都	10m36
9	鈴木 基史	名古屋	9m99
10	鈴木 鋭二	東北	9m85

円盤投

1	出口 雅俊	東京	39m79
2	中村 友昭	名古屋	39m76
3	仲野 大地	北海道	37m32
4	尾杉 友浩	大阪	35m94
5	遠藤大五郎	北海道	33m84
6	河村 和彦	京都	31m96
7	島田 俊雄	東京	31m01
8	岡本 泰英	東京	30m87
9	飛田 雄一	東北	30m71
10	鈴木 鋭二	東北	29m73

槍投

1	堤 哲生	京都	58m51
2	作本 和秀	大阪	56m68
3	中村 友昭	名古屋	54m54
4	出口 雅俊	東京	52m73
5	斎藤 陽	東北	49m88
6	持田 翼	北海道	49m56
7	仲野 大地	北海道	47m13
8	池田 大行	東京	43m21
9	竹内 淳能	北海道	43m00
10	松田 俊	京都	42m96

ハンマー投

1	南川 一夫	東北	45m01
2	河村 和彦	京都	44m85
3	出口 雅俊	東京	42m95
4	遠藤大五郎	北海道	39m56
5	中村 友昭	名古屋	38m11
6	小笠原義之	東京	31m28
7	飛田 雄一	東北	29m58
8	藤原 啓	東京	27m60
9	今野 陽介	東北	27m38
10	仲野 大地	北海道	25m81

総合

1	東京	78.5点
2	京都	73点
3	名古屋	57点
4	東北	52.5点
5	大阪	46点
6	北海道	34.5点
7	九州	15.5点

女子100m

1	帰山 祐佳	東京	12"51
2	若村 由樹	名古屋	12"87
3	荒俣 夏樹	名古屋	12"88
4	松本亜紀子	北海道	13"28
5	塩入 敦子	東京	13"29

女子400m

1	目黒亜由子	東京	60"33
2	塩入 敦子	東京	60"67
3	伊藤 佑	北海道	60"95
4	久野 理絵	名古屋	61"99
5	井上 尚美	北海道	63"69

女子800m

1	目黒亜由子	東京	2'19"1
1	岸上 香織	名古屋	2'19
3	井上 尚美	北海道	2'26"18
4	久野 理絵	名古屋	2'27"43
5	大本 祐子	京都	2'28"01

女子3000m

1	岸上 香織	名古屋	10'18
1	中尾 絵美	九州	10'18
3	白藤 寛子	名古屋	10'47"8
4	田端亜衣子	京都	10'56"52
5	大中 裕理	大阪	11'03"48

女子走高跳

1	勝野 麻美	北海道	1m51
2	金子 香織	名古屋	1m45
3	松本亜紀子	北海道	1m40
4	原田 幸	名古屋	1m35
5	滝上 伸子	京都	1m20

女子走幅跳

1	荒俣 夏樹	名古屋	5m58
2	原田 幸	名古屋	5m15
3	伊藤 佑	北海道	5m11
4	松本亜紀子	北海道	4m97
5	北川 佳奈	京都	4m89

女子砲丸投

1	中西 紅美	東京	9m66
2	金子 香織	名古屋	9m51
3	高橋 明珠	名古屋	8m92
4	帰山 祐佳	東京	7m43
5	松本亜紀子	北海道	6m49

総合

1	名古屋	32点
2	東京	19.5点
3	北海道	14点
4	九州	3.5点
5	京都	1点
6	東北	0点
6	大阪	0点

ランキングの計算については、補欠は除外している。尚、補欠において得点圏内の記録を持つ選手に付いては、*で記してある

新一回生紹介

名前	学部	出身校	種目	高校ベスト
油木 純一	農	同志社	短	100m 11"30 200m 22"72 400m 50"71
石塚 晶啓	農	都立戸山	長	5000m 16'50 1500m 4'27
内田 翔	工	宇部	長	1500m 4'12 5000m 16'33
宇部 達	工	仙台二高	長	5000m 16'13
木村 克也	工	大門	投	ハンマー投げ 36m 砲丸投げ 10m
杉本 昌大	農	清風	跳	走幅跳 7m15
瀬々井 巖士	工	熊本	短	100m 11"20 200m 23"21
富岡 麻衣子	農	聖母学院	長	
福原 徹彦	理	旭丘	長	5000m 16'45"1 3000m SC 10'39"77
堀江 匠	工	宝塚北	短	100m 11"21 200m 22"10
前田 昌也	理	川越	中	800m 1'57"16 1500m 4'15
松井 延行	農	東大寺	跳	走幅跳 6m71 100m 10"8
松田 俊	工	長田	投	槍投げ 50m33
水井 研吾	工	大洲	中	1500m 4'20 800m 2'05
宮木 貴志	農	明和	長	1500m 4'10
三好 達也	経	福知山	中	800m 1'57"8 1500m 4'07"3 5000m 15'40
山川 陽祐	農	大手前	長	1500m 4'50
山下 輝芳	農	橋本	長	800m 2'09 1500m 4'17"92 5000m 16'36
山城 丈	総人	巢鴨	長	
山田 修裕	教育	八代	長	800m 2'01" 1500m 4'17
横矢 龍之介	工	東大寺	跳	三段跳 13m80 走高跳 1m87
渡 寛法	総人	両国	中	800m 2'05

種目別選手権出場者の感想

男子3000mSC 佐藤 章徳 9.10.58

初めての全国大会でしたが、自己ベストを4秒ほど更新し、自分でも驚いています。

昨年の失敗を活かせず、今年も関西インカレ後に調子を崩してしまい、前週に行われた西日本インカレではそこそこの走りができなかったものの、当週にはさらに調子を落としてしまいました。しかし、前日までジョグさえまともにできなかった状態が嘘のように当日は体が軽くなっていました。どうやら全国大会の雰囲気がいい意味で飲まれたようです。学生のトップクラスの選手と一緒に走れるだけでも幸せなことだ、と開き直って臨んだのもよかったのかもしれない。

レースは曇り、無風という絶好のコンディションに加え、1km3分ペースで進んだ集団の流れに乗れたこともあり、最後まで踏ん張りきることができました。タイムにも満足していますが、それ以上に出場18人中最低の持ちタイムながら4人に先着し、大きな舞台でも通用するかもしれないと思えたことが大きな自信になっています。

このような機会を下さった方々には心から感謝しています。この経験を活かし、これからももっと強くなっていきたいと思えます。ご支援、ご声援ありがとうございました。

佐藤 章徳

男子1500m 西村 好康 3.58.48

このたびは蒼穹会より多大な支援を頂きありがとうございました。今回私にとって初めての全国大会だったのですが、2週間前に風邪を引いてしまい、体調が万全でないまま試合に臨み、結果はセカンドベストで自分としてはそれほど悪くなかったものの、他の選手に完全に置いて行かれてしまい、まだまだ実力不足であることを痛感しました。しかしながら私はまだ2年生なのでこの貴重な経験をこれからの競技生活に活かしていこうと思います。

西村 好康

関カレ以降の個人戦・記録会の結果

第13回日本学生陸上競技種目別選手権大会
(6/22 小田原市城山陸上競技場)

1500m			
西村 好康	9位	3.58.48	
3000mSC			
佐藤 章徳	14位	9.10.58	PB

村地 優樹	2.05.31	CB
花谷 直人	2.13.91	PB

1500m		
西村 重行	4.16.91	CB

5000m		
山中 邦夫	16.03.31	
田中 齊太郎	16.07.98	

第4回京都陸協記録会 (5/25 西京極)

100m			
花谷 直人	11.39	-0.1	
	11.40	-0.2	
北垣 卓	11.53	-0.8	
雪本 明宏(院)	11.56	-0.8	
佐藤真一郎	11.68	+1.0	PB
河村 和彦	12.14	+1.0	PB
藤森真一郎	12.28	-0.4	
西村 広展	12.42	-2.0	

渡辺 敬宏	16.13.51
山崎 圭介	16.17.96
松本 隆平(院)	16.33.53
背戸 和寿	17.30.58
伊藤 隆裕	17.47.34
小林 輝明	DNF

110mH		
佐藤真一郎	15.36	-0.4

ハンマー投	
河村 和彦	41.08

200m		
北垣 卓	22.78	-1.4
雪本 明宏(院)	23.32	-0.6
藤森真一郎	24.58	-1.0
西村 広展	24.67	-0.9
800m		
磯島 弘	1.58.27	CB
佐藤 章徳	2.02.00	

3000m	
佐々木 郁(院)	10.32.62
田端亜衣子	11.36.97
山下 里絵	12.07.59
中村奈都子	12.19.63
溜 宣子	12.26.73

第2回学連記録会 (6/2 西京極)

3000m			
田端亜衣子		10.56.52	PB
中村奈都子		12.17.16	
溜 宣子		12.27.52	

第56回大阪大学・名古屋大学対校 (6/1 枚方)

100m			
広瀬 亮平	OP	10.78	+2.5
北垣 卓	OP	11.10	+2.5
花谷 直人	OP	11.35	+2.5
雪本 明宏(院)	OP	11.38	+0.7
若山 哲志	OP	11.42	+2.5
寺田 悟	OP	12.05	+2.5
鈴木 龍介	OP	12.98	+2.5

1500m			
磯島 弘	OP	4.07.27	
大畑 合	OP	4.30.82	
石田 康典	OP	4.48.63	

5000m			
西村 重行	OP	16.02.54	
田中斉太郎	OP	16.47.64	
大崎 友数	OP	17.04.38	
背戸 和寿	OP	17.36.54	

110mH			
寺田 悟	OP	16.27	+1.3 PB

4×200mR			
広瀬-北垣-花谷-若山	OP	1.28.31	
雪本-背戸-田中斉-石田	OP	1.42.05	
寺田悟-磯島-大崎-西村重	OP	1.42.08	

やり投			
堤 哲生	OP	56.55	

第55回西日本I C (6/14~16 長良川)

100m			
広瀬 亮平	予	10.95	+2.0

200m			
北垣 卓	予	23.34	-1.9

400m			
村地 優樹	予	52.47	

800m			
近藤 芳樹	予	2.01.20	

1500m			
磯島 弘	36位	4.08.78	

5000m			
西村 重行	38位	15.43.35	

110mH			
若山 哲志	予	15.60	-0.8

400mH			
寺田 悟	予	58.75	

3000mSC			
佐藤 章徳	13位	9.29.03	
大崎 友数	31位	9.56.98	PB

10000mW			
杉本 明洋	優勝	42.42.80	

4×100mR			
雪本-広瀬-藤井章-北垣	予	42.64	

4×400mR			
米谷-村地-磯島-寺田悟	予	3.28.45	

100m			
粟村 聡資	-	NR	

兵庫実業団記録会 (6/15 尼崎)

5000m			
松本 隆平(院)		16.12.26	
背戸 和寿		16.47.15	

3000m			
中村奈都子		12.00.25	

第70回大阪選手権 (6/29,30 万博)

400m			
村地 優樹	予	51.02	

800m			
磯島 弘	予	1.59.58	

1500m			
大畑 合	予	4.07.99	

110mH			
尾崎 禎亮	予	15.56	+0.6 PB
	準	15.54	+0.4 PB

3000mSC			
佐藤 章徳	4位	9.23.86	

第61回滋賀県選手権 (6/29,30 皇子山)

100m			
広瀬 亮平	予	10.81	+1.4 PB
	準	10.71	+3.1
	7位	10.89	+0.9

雪本 明宏(院)	予	11.18	+1.5
	準	11.04	+3.1
北垣 卓	予	11.21	+1.5 CB
	準	11.13	+1.9 CB

花谷 直人	予	11.17	+1.7
	準	11.20	+1.1
堀江 匠	予	11.42	+1.5
	準	11.27	+3.1

米谷 健司	予	11.45	+1.7 PB
	準	11.55	+1.9
松井 延行	予	11.39	+1.5
瀬々井巖士	予	11.53	+1.0

根元 貴行(院)	予	11.71	+1.5
200m			
北垣 卓	予	22.81	+1.2
	準	22.77	+1.0

花谷 直人	予	22.80	+1.0 PB
	準	22.80	+1.0

雪本 明宏(院)	予	23.14	+0.3	
	準	22.94	+1.0	
堀江 匠	予	23.52	+0.5	CB
米谷 健司	予	23.83	+0.5	
400m				
藤森真一郎	予	55.28		
800m				
前田 昌也	予	2.06.03		
	準	2.04.62		CB
水井 研吾	予	2.10.61		
1500m				
山田 修裕	予	4.24.54		
石田 康典	予	4.40.40		PB
5000m				
田中齊太郎	夕決	16.20.85		
400mH				
寺田 悟	予	57.70		
	6位	58.80		
3000mSC				
西村 重行	-	DNF		
走幅跳				
杉本 昌大	優勝	7.02	+0.9	
松井 延行	8位	6.47	+2.5	
森 一	10位	6.31	+1.7	
三段跳				
福山 大典	決	14.46	+0.5	
横矢龍之介	決	13.91	+0.9	PB
栗村 聡資	-	NR		
やり投				
堤 哲生	優勝	57.50		
真鍋 文朗	18位	33.97		PB

第48回岡山県選手権 (6/28~30 津山)

3000mSC

山崎 圭介 8位 9.57.73

記号の見方

予:男子種目 予:女子種目

予:予選 順位:決勝の順位

:記録会等の2次レース

夕決:タイムレースの決勝(順位不詳)

PB:自己新記録

CB:大学における自己新記録

:デビュー戦

蒼穹新:蒼穹新記録

:蒼穹ランク

(記録を出した時点、20位まで)

(院):学連登録の院生

(蒼):蒼穹クラブ登録の部員



蒼穹ニュース 平成14年度 第3号

平成14年7月13日 発行

発行所:京都大学体育会陸上競技部

編集者:岩瀬祥子・真鍋文朗・大崎友数・北垣卓・竹村顕大朗(副務)

特別協力:森一(学連員)・滝上伸子(体育会員)

佐藤章徳(記録係)・背戸和寿(HP係)

写真担当:垣畑陽・菅原健志・村地優樹

陸上競技部 HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/>

蒼穹ニュース HP <http://www.kusu.kyoto-u.ac.jp/~athletic/soukyu.htm>

関西学連 HP <http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm>

メールアドレス cqs02404@nifty.com (田中)